

♪ 藤山台小学校二部合唱、夢の復活 ♪

校歌を歌う時「校歌斉唱」といいます。「斉唱」は多人数で一斉に同じ旋律を歌うことを言います。我が校の校歌の楽譜をじっくり見てみますと「何と低音部付きの二部合唱に作曲されてるではありませんか。難しいから斉唱なのかしらと思って長くいらっしゃる先生に聞いてみたら「いえ、何年か昔はちゃんと低音部入れて二部合唱で歌ってましたよ」とのこと。そうか、ならばやろうではないか！ということで、音楽の授業を使い、5、6年生に低音練習してもらい合唱準備をしたのです。新1年生もそろそろ校歌を覚えた頃、いよいよ二部合唱デビューという次第になったのです。5、6年生だけの低音部披露をしそのあといよいよ合わせの合唱です。

低音は主旋律と合わせて初めてその力を発揮し、歌を何倍も素敵にしてくれます。主旋律を輝かせるためにそれが高音のためのみならず、その歌全体を何倍も輝かせてくれるのです。低学年は初めての校歌合唱にちょっととまどいもありましたが、低音を聴くと歌い方に変化が…。「聴いて歌う、合わせて歌う」勉強の第一歩でした。

♪ 広がれ歌声 ♪

2ヶ月に1曲位のペースでゆっくり取り組み、合唱のレパートリーを増やしたいと思っています。4月は「つばさをください」を歌いました。そして、2曲目は「校歌」そして今は新しい歌を練習しています。とても素敵な歌でみんな大好きです。素敵なオブリガートがついていて二部合唱に仕上がるのが楽しみです。家でも口ずさんでくれているかな。この歌をお知りになりたい方はどうぞミニ音楽の先生に教わってください。「世界がなんとか・・・」ってどんな曲？きっとミニ先生は振り付けつきでバッチリ教えてくれるでしょう。あの、あくまでミニ先生のご指導に逆らわないように「先生さずがお上手ですねー」とほめてくださいませ。ちびっ子だろうと先生は先生、素直に従わねばなりませんぞ。うまくいけばミニ先生がもう一曲歌ってくれたりするかも！？

インフルエンザは人間の隙をのらってもぐり込む

新型インフルエンザ旋風はなかなかおとなしくなりません。保護者のみなさまもさぞ不安のことと思います。やむなく休校したり、修学旅行・行事などを延期したりしている学校もあります。社会を巻き込み、私たちの暮らしに様々な影響を与えています。

しかし今、私たちが共通に意識していきたいことは「インフルエンザが入る隙を作らないこと」です。病気は疲れた体、弱った体、大事にされてない体にくっつきます。健康で元気であれば、かかったとしても早く回復します。神経質にならず、学校でも普段の健康管理・衛生管理に努めます。

当たり前のことですが「うがい」「手洗い」「睡眠」「栄養」つまり、規則正しい生活をしていれば怖くありません。

最近、暑さのせいかさえない顔で登校する子が気になります。朝「いってらっしゃい」と送り出す時、よく見てあげてください。家族全体の姿勢、親の愛情が規則正しい生活に不可欠だと思います。小さな子どもたちです。大人で支えて守ってやらねば・・・病気はあんがい、家族の隙を狙っているかも・・・よろしくご協力お願いします。



集中カッ

